

## 旧蚕糸試験場所蔵機械等

### ◆昭和20年～30年代の多条繰糸機を動態展示

昭和23年に農林省蚕糸試験場岡谷製糸試験所が現在の岡谷蚕糸博物館の地に設立された。

自動繰糸機開発の契機となった織度感知器の開発や製糸工程管理技術の確立、シルク新素材開発が行われるなど、我が国の製糸技術研究の重要な拠点となった。多条繰糸機などが近代化産業遺産に認定された。これらの機械は岡谷蚕糸博物館で展示している。



岡谷蚕糸博物館内で動態展示している増沢式多条繰糸機。